

3. 平成 30 年度事業報告

本報告は、定款第 39 条に基づき監事の監査を受け平成 31 年度第 1 回理事会にて承認を得ております。

公益社団法人日本栄養・食糧学会 平成 30 年度（平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日）事業報告

< 概要 >

平成 23 年 9 月 1 日の公益社団法人化からの第 8 期目として、4 月 1 日より平成 30 年度の各事業をスタートさせた。5 月 11 日に社員総会を開催し、平成 29 年度決算書の件、次期理事、次期監事選任の件につき議決するとともに、平成 30 年度事業計画の件、同年度収支予算計画の件、平成 29 年度事業報告等の報告を承認した。

平成 29 年度事業報告、同年度決算書については 6 月 25 日に、また、平成 30 年度事業計画、同年度収支予算計画については 3 月 28 日に内閣府に報告した。

栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公 1 事業）として、次の行動を行った。中国・四国支部の担当による第 72 回年次大会（開催市：岡山県岡山市及び総社市、会場：岡山コンベンションセンター及び岡山県立大学、会頭：辻 英明岡山県立大学理事長兼学長）を開催し、1,820 名の参加を得て、基調講演、教育講演、シンポジウム、市民公開講座、一般演題発表等を通じて、栄養科学・食糧科学の最新情報を交換する場となった。特に、京都大学大学院稲垣暢也氏による特別講演「栄養と肥満：腸管の役割」は脂質の摂取により誘導される肥満の機序に関する新知見が述べられ満員の聴衆の好評を博した。また、第 73 回年次大会については中部支部担当（会頭：合田敏尚静岡県立大学副学長）で開催（開催市：静岡市、会場：清水文化会館マリナート及び静岡県立大学）することになり、その準備として、プログラム、会場、運営等の活動を精力的に進めた。支部事業については、全支部において、それぞれに相応しいテーマのもとに支部大会およびシンポジウム等を開催した。

栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業（公 2 事業）においては、引き続き日本栄養・食糧学会誌を効率的な編集方針のもとに定期的に刊行（第 71 巻 2 号～6 号、第 72 巻 1 号）し、欧文誌 JNSV 刊行においては、日本ビタミン学会とともに構成している JNSV 編集委員会を中心となって、数年来検討を続けてきたペーパーレス化を実施し、平成 30 年 2 月の Vol. 64-No. 1 より電子版を主とした公開を行い、順調に経過している。希望者には有料での冊子体の頒布を継続している。

理事会を中心に、公益法人としてのガバナンスの向上、会員サービスの向上に努め、利益相反（COI）については、「栄養・食糧学研究の利益相反に関する指針」並びにその細則の改訂案について 1 年間の試行を終え、本格運用を開始した。申告者の利便性向上の観点から、更なる制度改良を検討中である。また、年次大会参加者の利便性向上の観点から、講演要旨集の Web 公開を継続実施している。

加えて平成 27 年度に新設した技術賞の選考を行い、2 件の授与を決定し、本学会における産官学連携のさらなる推進を図った。

若手会員の活性化を目指した事業の検討を、学会活動強化委員会を中心に進め、昨年度に引き続き、個人会員 1 名からの寄付を得て、若手研究助成の対象枠を 1 名増とするとともに、学生優秀発表賞を次年度も継続すべく準備を行った。

I 会員の動き

1) 会員の状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

名誉会員	36 名
終身会員	155 名
正会員	2932 名
学生会員	799 名
団体会員	62 件
賛助会員	66 件（79 口）
学会誌定期購読団体	107 件

2) 平成 30 年度（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）物故会員（敬称略）

終身会員：白畑 實隆、谷口 己佐子、中村 尚夫、前川 昭男

3) 支部別会員数 平成 31 年 3 月 31 日付

支部名	会員種別	名誉会員	終身会員	正会員	学生会員	団体会員	賛助会員 [口 数]
北海道支部		0 (± 0)	8 (± 0)	87 (− 4)	34 (+ 2)	1 (− 2)	1[1] (± 0)
東北支部		2 (± 0)	7 (± 0)	162 (+ 2)	40 (+ 2)	1 (± 0)	0[0] (± 0)
関東支部		18 (+ 1)	61 (+ 3)	1151 (−26)	212 (−11)	33 (± 0)	55[68] (− 3)
中部支部		3 (± 0)	18 (+ 1)	365 (+ 9)	90 (+16)	4 (− 1)	3[3] (± 0)
近畿支部		5 (± 0)	40 (− 1)	612 (− 5)	236 (+15)	9 (± 0)	5[5] (− 2)
中国・四国支部		2 (± 0)	13 (+ 2)	308 (+ 3)	108 (+16)	10 (± 0)	2[2] (± 0)
九州沖縄支部		6 (± 0)	8 (− 1)	242 (−17)	77 (+ 4)	4 (+ 1)	0[0] (± 0)
海外		0 (± 0)	0 (± 0)	5 (+ 1)	2 (− 1)	0 (± 0)	0[0] (± 0)
合計		36 (+ 1)	155 (+ 4)	2932 (−37)	799 (+43)	62 (− 2)	66[79] (− 5)

() 内は平成30年3月31日会員数に対する増減を示す。

II 各種事業活動の推進報告

<栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公1）>

1) 大会事業

(1) 第72回日本栄養・食糧学会大会の開催（会頭 辻 英明 岡山県立大学学長兼理事長）
平成30年5月11日（金）～5月13日（日）岡山コンベンションセンター、岡山県立大学

*特別講演

「栄養と肥満：腸管の役割」	稲垣 暢也（京都大学大学院）
「人間の栄養に資する植物のミネラル輸送」	馬 建鋒（岡山大学）
「日本栄養・食糧学会における医系会員に関する一考察（私見）」	近藤 和雄（東洋大学）
「災害救助活動と食糧事情について」	菅波 茂（AMDAグループ）

*教育講演

「研究開発における利益相反（COI）と日本栄養・食糧学会におけるCOI管理について」	長岡 利（岐阜大学）
「凍結含浸法の特徴とそれを応用した新たな機能性食品の作製技術」	坂本 宏史（広島国際大学）
「高齢者の栄養管理の留意点」	栢下 淳（県立広島大学）
「研究倫理のルール：栄養学研究を正しく行うために」	神里 彩子（東京大学）
「人工知能・機械学習入門」	瀬々 潤（産業技術総合研究所）
「栄養学へのハイドロコロイド的アプローチ—咀嚼嚥下困難者食の設計、栄養素の利用効率制御—」	西成 勝好（湖北工業大学）

*国際シンポジウム「Food regulation and consumer needs in the world」

「Introduction of IUNS Committee of the Science Council of Japan」	Makoto Shimizu (Tokyo University of Agriculture)
「Development of database on food regulation in the world」	Marta Cesar (Food regulations and Compliance Manager IFIS)
「Determinants of Asian consumers' food choices Internatinal Symposium:Food regulation and consumer needs in the World」	David N Cox (CSIRO Health and Biosecurity)
「Food Regulation and food labeling in Japan」	Jun Takebayashi (NationalInstitutes of Biochemical Innovation, Health and nutrition)

*医学系学会との合同シンポジウム「内臓脂肪肥満とインスリン抵抗性—病態生理と栄養学的アプローチ—」

「メタボリックシンドロームとアディポネクチン」	木原 進士（大阪大学大学院）
「腹部脂肪分布様式・異所性脂肪とインスリン抵抗性」	島袋 充（福島県立医科大学）
「インスリン抵抗性に対する栄養学的アプローチ」	合田 敏尚（静岡県立大学）
「食品因子による内臓脂肪・異所性脂肪へのアプローチ」	太田 嗣人（旭川医科大学）

*シンポジウム 18 テーマ

*市民公開講座 1 テーマ

一般講演 538 題

参加者数 1820名（内 非会員 521名）

(2) 支部事業

①北海道支部

*第48回日本栄養・食糧学会北海道支部大会

平成30年11月17日（土）～18日（日）北海道大学大学院 水産科学研究院

日本栄養・食糧学会東北支部と合同支部大会および公開シンポジウム

公開シンポジウム「食品成分および栄養素センシングと生体応答」

「母マウスへの高脂肪食の給餌が乳仔期のベージュ脂肪細胞誘導に与える影響」

岡松 優子（北海道大学大学院）

「緑茶カテキンセンシングと生体調節作用」

立花 宏文（九州大学大学院）

「妊娠中の栄養が出生後の疾患リスクを変える機構：DOHaDとエピゲノム制御」

加藤 久典（東京大学大学院）

参加者数 81名（内 非会員 4名）

一般講演 26題

②東北支部

*第52回日本栄養・食糧学会東北支部大会

平成30年11月17日(土)～18日(日) 北海道大学大学院 水産科学研究院
日本栄養・食糧学会北海道支部と合同支部大会および公開シンポジウム

③関東支部

*第102回日本栄養・食糧学会関東支部大会

平成30年11月17日(土) お茶の水女子大学 共通講義棟
シンポジウム「脂質と疾患の最新情報」

「細胞ステロールセンシング：制御機構とその異常」

山内 祥生(東京大学大学院)

「必須脂肪酸欠乏時の代謝制御とその破綻がもたらす病態」

市 育代(お茶の水女子大学基幹研究院)

「 ω 3脂肪酸による炎症・アレルギーの制御ー最近のトピックス」

小林 哲幸(お茶の水女子大学基幹研究院)

「エポキシ化 ω 3脂肪酸によるマスト細胞クオリティの制御」

嶋中 雄太(東京大学大学院)

「心臓特異的GPx4欠損マウスを用いたビタミンE研究」

幸村 知子(北里大学)

参加者数 62名(内 非会員 25名)

*第21回健康栄養シンポジウム

平成31年1月26日(土) 星陵会館

シンポジウム「血管を守る生活習慣」

「食事・食環境整備から考える高血圧対策」

石田 裕美(女子栄養大学)

「長期縦断的調査からみたコーヒーの生活習慣病予防効果」

船津 和夫(三越総合健診センター)

「家庭で測る血圧測定的重要性」

有田 幹雄(和歌山県立医科大学)

「日常生活における血管の重要性」

岩瀬 敏(愛知医科大学)

参加者数 149名(内 非会員 113名)

*第103回日本栄養・食糧学会関東支部大会

平成31年3月16日(土) 宇都宮大学峰キャンパス 大学会館2階多目的ホール

シンポジウム「イチゴに秘められた機能性と可能性」

「とちぎいちごの生産と研究の関わり」

石原 良行(三菱ケミカル株式会社)

「イチゴファイトケミカルの糖尿病および高尿酸血症に対する食理作用」

矢ヶ崎一三(宇都宮大学)

「ヘアレスマウスを用いた皮膚光加齢に対するイチゴ種子成分の作用」

近藤 真司(宇都宮大学)

「イチゴの嗜好性に関する動物行動学的研究」

安達 真一(宇都宮大学)

「イチゴの『おいしさ』と関連するデータの推定～イチゴを食した際の脳活動情報を用いたデータ分析～」

小川 貴弘(北海道大学大学院)

「イチゴ中の栄養・機能性成分のイメージング質量分析法を用いた分布解析」

榎元 廣文(帝京大学)

参加者数 44名(内 非会員 24名)

④中部支部

*第74回日本栄養・食糧学会中部支部大会

平成30年6月16日(土) 静岡大学 農学総合棟

日本栄養・食糧学会 学会賞・奨励賞受賞講演

「食事要因による消化管機能の制御と代謝性疾患の予防に関する研究」

合田 敏尚(静岡県立大学)

「糖・脂質代謝異常症の遺伝因子と食事因子に関する研究」

堀尾 文彦(名古屋大学大学院)

「抗酸化経路制御に基づく大腸疾患予防に関する食品機能学的研究」

東村 泰希(石川県立大学)

特別講演

「腸内細菌研究の歴史と展望」

牛田 一成(中部大学)

参加者数 49名(内 非会員 13名)

*第75回日本栄養・食糧学会中部支部大会

平成30年12月1日(土) 静岡大学 農学研究棟

特別講演

「プレ・プロバイオティクス研究から腸内細菌叢と宿主のクロストークを理解する」

園山 慶(北海道大学大学院)

参加者数 53名(内 非会員 6名)

一般演題 16題

⑤近畿支部

*第8回栄養学を志す若手のためのフォーラム

平成30年7月14日(土) 同志社女子大学 今出川キャンパス

平成30年10月6日(土) 同志社女子大学 今出川キャンパス

平成30年12月1日(土) 同志社女子大学 今出川キャンパス

「近畿支部実践栄養学セミナー(ステップ1)」

参加者数 7名(内 非会員 2名)

*第57回日本栄養・食糧学会近畿支部大会

平成30年12月8日(土) 畿央大学

公開特別講演「おいしさと健康—味覚と健康増進の働きを探る」

「おいしさとコクの科学」

「魚介類のおいしさを探る」

「大豆のおいしさと健康機能」

参加者数 188名 (内 非会員 15名)

一般演題 54題

山本 隆 (畿央大学)

坂口 守彦 (おいしきの科学研究所)

戸田登志也 (武庫川女子大)

⑥中国・四国支部

*第51回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会

平成30年11月17日(土)～18日(日) 広島大学 東広島キャンパス

市民公開講座

「発酵食品『酒粕』の機能性成分と潜在力」

藤井 力 (独立行政法人 酒類総合研究所)

「トクホ・健康食品の開発研究」

榎木 智裕 (サントリーウェルネス株式会社)

特別講演

「食・腸内細菌・免疫が形成する腸管マトリックスの理解と健康科学への展開」

國澤 純 (医薬基盤・健康・栄養研究所)

「低タンパク質食による慢性腎不全進行抑制メカニズム：トリプトファン由来腸内細菌代謝産物に焦点を当てて」

清水 英寿 (島根大学)

参加者数 64名 (内 非会員 30名)

一般講演 25題

⑦九州・沖縄支部

*平成30年度日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部大会

平成30年10月20日(土) 宮崎大学創立330記念講堂

平成30年10月21日(日) 宮崎大学農学部

公開市民講座「食欲とおいしさのサイエンス」

「走行運動と摂食の相反的制御機構について」

村上 昇 (宮崎大学)

「おいしさをつくる油のサイエンス」

松村 成暢 (京都大学大学院)

「全国初！宮崎県における『おいしさ・リサーチラボ』の取組」

柚木崎千鶴子 (宮崎県食品開発センター)

「味の物差しでグローバル化する食の世界」

都甲 潔 (九州大学高等研究院)

「ナツダイダインを含有する香酸かんきつ『へべす』の活用」

宮崎県立門川高等学校 農業クラブ

参加者数 197名 (内 非会員 67名) 1日目

68名 (内 非会員 7名) 2日目

一般講演 25題

2) 大会事業準備

(1) 第73回日本栄養・食糧学会大会の開催(会頭 合田 敏尚 静岡県立大学副学長)

令和元年5月17日(金)～5月19日(日) 静岡県静岡市

*特別講演 5題

*教育講演 6題

*フォーラム 1テーマ

*シンポジウム 19テーマ

*市民公開講座 2テーマ

*一般講演 523題

(2) 第74回日本栄養・食糧学会大会開催準備

令和2年5月15日(金)～5月17日(日) 宮城県仙台市

東北支部(大会準備責任者 宮澤 陽夫 東北大学未来科学技術共同センター)が開催担当支部として準備を進めた。

(3) 第75回日本栄養・食糧学会大会開催準備

年次総会令和3年5月、東京都

75回大会はIUNS-22ndICNと令和3年9月14日(火)～19日(日)に同時開催

関東支部(大会準備責任者 加藤 久典 東京大学大学院)が開催担当支部となった。

3) 表彰事業および助成・助成推薦事業

本事業は、各種授賞等選考委員会並びに学会活動強化委員会を通じ展開された。

(1) 第1回各種授賞等選考委員会(5/11)が開催され、事業方針・スケジュールを確認した。

(2) 第2回各種授賞等選考委員会(12/22)が開催され、平成31年度表彰の功労賞2件、学会賞2件、奨励賞3件、技術賞2件、栄養・食糧学基金研究助成対象者2件、栄養・食糧学基金若手助成対象者3件を推薦し理事会に上申した。

(3) 学会活動強化委員会活動としては、

- ①学術企画の支援として学会活動強化費申請（6件）のメール審査を行い、修正後、再提出を求めたうえで全て承認した。
- ②栄養・食糧学基金研究助成・若手研究助成・国際助成の審査を行い、各種授賞等選考委員会へ報告を行った。
- ③学生優秀発表賞の応募、選考を行った。

(4) 平成30年度表彰授与式開催

①平成30年度受賞者

功労賞	3件	齊藤 昌之	清水 誠	中野 長久
学会賞	3件	石見 佳子	宇都宮一典	堀尾 文彦
奨励賞	3件	財満 信宏	東村 泰希	松村 成暢
技術賞	2件	森永乳業株式会社（阿部 文明、山内 恒治、田中 美順、三澤江里子、齊藤万里江、鍋島かずみ）		
		雪印メグミルク株式会社（門岡 幸男、小川 哲弘、高野 義彦、守屋 智博、酒井 史彦、北海道情報大学 西平 順、北海道大学 宮崎 忠昭、よこはま土田メディカルクリニック 土田 隆、九州大学大学院 佐藤 匡央）		

②平成30年度栄養・食糧学基金研究助成者

栄養・食糧学基金研究助成	竹井悠一郎	本間 一江
栄養・食糧学基金若手研究助成	坂本 友里	中本 晶子 横山 友里

- (5) 平成31年度対象の各賞候補者の公募、栄養・食糧学基金の研究助成・若手研究助成対象者募集記事を学会誌第71巻4号、ホームページ及びメールニュースに掲載した。栄養・食糧学基金 国際交流助成前期の募集を学会誌第71巻3号及び71巻6号、ホームページ及びメールニュースに掲載した。

- (6) 表彰事業の協賛のため3企業・団体へ依頼し応諾された。

- (7) 下記外部団体からの研究褒賞候補者推薦依頼・研究助成募集の周知を図った。

①研究褒賞候補者推薦依頼

天野エンザイム(株)/酵素応用シンポジウム研究奨励賞	(公財)安藤スポーツ・食文化振興財団/安藤百福賞
(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団/飯島藤十郎食品科学賞&飯島藤十郎食品技術賞	
(公財)上原記念生命科学財団/上原賞	(公財)木原記念横浜生命科学振興財団/学術賞
慶應義塾医学振興基金/慶應医学賞	第一生命保険株式会社/保健文化賞(公財)
(公財)辻静雄食文化財団/辻静雄食文化賞	(一財)東京顕微鏡院/遠山椿吉記念、健康予防医療賞
(公財)内藤記念科学振興財団/内藤記念科学振興賞	(一社)日本医師会/日本医師会医学賞・医学研究奨励賞
(独)日本学術振興会/日本学術振興会賞・育志賞	(公社)日本看護協会/ヘルシー・ソサエティ
(一社)日本病院会(公社)全日本病院協会/山上の光賞	福井県小浜市/杉田玄白賞
(一財)バイオインダストリー協会/大賞・奨励賞	(公財)三島海雲記念財団/三島海雲学術賞
(公財)森永奉仕会/森永奉仕会賞	(一財)材料科学技術振興財団/山崎貞一賞

②研究助成募集の周知

(公財)アサヒグループ学術振興財団	(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団
(公財)上原記念生命科学財団	うま味研究会
(公財)浦上食品・食文化振興財団	(公財)エリザベス・アーノルド富士財団
(独)科学技術振興機構	(一財)旗影会
(一財)キャノン財団	公益信託家政学研究助成基金
笹川スポーツ財団	(公財)サッポロ生物科学振興財団
(一社)Jミルク(公財)杉浦記念財団	(公財)住友生命健康財団
(公財)ソルト・サイエンス研究財団	(公財)タカノ農芸化学研究助成財団
(公財)ダノン健康栄養財団	(一社)中央味噌研究所
(公財)東洋食品研究所	(公財)内藤記念科学振興財団
(公財)日本科学協会	(公財)日本食品化学振興財団
(公財)ニッポンハム食の未来財団	(公財)不二たん白質研究振興財団
抹茶と健康研究会	(公財)ホクト生物科学振興財団
(公財)本庄国際奨学財団	(公財)三島海雲記念財団
(公財)森永奉仕会	やずや食と健康研究所
(公財)山崎香辛料振興財団	(公財)山田科学振興財団
山田養蜂場	(公財)ロッテ財団

- (8) 外部団体への推薦

①公益財団法人 森永奉仕会

平成29年度森永奉仕会研究奨励金受賞（平成30年7月3日受理）

②公益財団法人山田科学振興財団

2019年度研究援助候補者

各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、1件を学会として推薦

(9) 研究活動の奨励

第72回大会時に下記関連学術集会を支援

- ① ヒトエネルギー代謝研究若手の会の開催
- ② 第10回カルノシン・アンセリン研究会の開催
- ③ スポーツ栄養学研究会の開催
- ④ 栄養学若手研究者の集いの開催
- ⑤ コラーゲンペプチド機能研究会の開催

4) 栄養・食糧科学に関する研究・調査事業

本事業は、下記2テーマで、栄養成分表示・栄養教育の検討は非常置委員会として、栄養・食糧学用語に関する検討は平成28年度より常置委員会としてそれぞれの委員会で展開された。

以下各テーマについて主な進捗を報告する。

(1) 栄養成分表示・栄養教育の検討

食事摂取基準の改定の進捗状況を検討しつつ、第73回大会における摂取基準に関するシンポジウムの開催に向けて準備を行った。

(2) 栄養・食糧学用語に関する検討

栄養・食糧学用語辞典（第2版）における見出し語ならびに説明文の検証を行い、ホームページへの改訂版掲載に向けて作業を行った。

5) 国際交流事業

(1) International Union of Nutritional Sciences (IUNS) 関係

宮澤陽夫 IUNS 理事を通して IUNS 理事会との連携を密にした。

日本学術会議の第24期の IUNS 分科会（加藤久典委員長）の活動を継続して支援した。

(2) 22nd IUNS-ICN (ICN2021) 関係

組織委員会や幹事会を中心にプログラム委員会、広報委員会などによる準備を進めた。IUNS 本部との打ち合わせを2回行った。

(3) Federation of Asian Nutrition Societies (FANS)

同会会長の宮澤陽夫東北大学教授、事務局長の加藤久典東京大学特任教授による4年目の体制において、加盟学会と様々な連携を行った。

(4) International Union of Food Science and Technology (IUFoST) 関係

IUFoST Japan と連携しその事業を支援した。

(5) 海外関連学会との連携

韓国 KFN との交流の一環として、宇都宮会長が KFN の大会に招待され講演を行った。

(6) 第73回大会の国際シンポジウムとして、国際誌のあり方のテーマで企画して準備を行った。

6) 倫理審査事業

本事業は、倫理審査委員会を通じ展開されている。

(1) 倫理審査申請依頼（申請書番号87番）に基づきメール審議で倫理審査委員会を開催、申請書の修正・再提出の後、審査結果に基づき承認

(2) 倫理審査申請依頼（申請書番号88番）に基づきメール審議で倫理審査委員会を開催、申請書の修正・再提出の後、審査結果に基づき承認

< 栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業（公2） >

1) 出版事業の推進

本事業に関しては、日本栄養・食糧学会誌編集委員会が担当するとともに、JNSV 刊行においては、日本ビタミン学会との共同編集として発刊した。これらの学術誌の発刊は、(一財)学会誌刊行センターに委託している。

(1) 日本栄養・食糧学会誌 第71巻2号～6号、第72巻1号

①投稿状況

平成31年3月31日現在 投稿数（うち採択数）

受付日	全投稿数	総説	報文	研究ノート	資料	速報
2017年4月	3(2)	0	3(2)	0	0	0
2017年5月	2(1)	0	2(1)	0	0	0
2017年6月	3(3)	3(3)	0	0	0	0
2017年7月	3(3)	1(1)	1(1)	0	1(1)	0
2017年8月	4(2)	1(1)	3(1)	0	0	0
2017年9月	3(2)	1(1)	2(1)注1	0	0	0
2017年10月	5(1)	0	5(1)注1'注2	0	0	0
2017年11月	1(1)	0	0	0	1(1)注3	0
2017年12月	2(1)	0	2(1)	0	0	0
2018年1月	0	0	0	0	0	0
2018年2月	2(1)	1(1)	0	0	1(0)注4	0
2018年3月	2(1)	0	1(0)	0	1(1)	0
2018年4月	4(2)	0	2(0)注5	1(1)	1(1)注2'	0
2018年5月	1(0)	0	1(0)注6	0	0	0
2018年6月	3(1)	1(1)注7	1(0)注5'	1(0)	0	0
2018年7月	6(6)	3(3)注8	1(1)	2(2)注4'	0	0
2018年8月	3(2)	1(1)注9	2(1)注10	0	0	0
2018年9月	2(1)	1(1)注11	1(0)	0	0	0
2018年10月	2(1)	0	1(審査中)	1(1)注6'	0	0
2018年11月	2(1)	0	1(0)	1(1)	0	0
2018年12月	0	0	0	0	0	0
2019年1月	0	0	0	0	0	0
2019年2月	1(0)	0	1(0)注12	0	0	0
2019年3月	1		1(審査中)	1(審査中)		

※採否が確定していない論文がある月：平成30年10月 平成31年3月

注1) 不採択となった1報は平成29年10月に再投稿されるも不採択

注2) 不採択のうち1報は平成30年4月に研究ノートとして再投稿され、採択

注3) 平成29年度技術賞

注4) その後平成30年7月に研究ノートとして再投稿され、採択

注5) その後1報は平成30年6月に再投稿されるも不採択（報文→研究ノートへの種別変更を促した）

注6) その後平成30年10月に研究ノートとして再投稿され、採択

注7) 平成30年度奨励賞 注8) 平成30年度学会賞（1報）、平成30年度奨励賞（2報）

注9) 平成30年度学会賞 注10) 1報は取り下げ 注11) 平成30年度技術賞

注12) 研究ノートへの種別変更を促しての不採択

*平成29年度 投稿論文 30編

採択率 60%

掲載可 18編（平均所要日数88日） 掲載否 12編（平均所要日数28日）

取り下げ 0編 審査中 0編

*平成30年度 投稿論文 26編

採択率 54%（取り下げ及び審査中除く）

掲載可 14編（平均所要日数65日） 掲載否 8編（平均所要日数48日）

取り下げ 1編 審査中 3編

②発行状況

巻号	総説	報文	研究ノート	資料	速報	書評	計
71-2	0	1	1	2	0	0	4
71-3	1	2	0	0	0	1	4
71-4	0	2	0	0	0	0	2
71-5	2	0	1	1	0	2	6
71-6	2	0	1	0	0	0	3
72-1	0	1	1	1	0	0	3
総計	5	6	4	4	0	3	22

③刊行状況

巻号	納本日	予定日
71-2	4月10日	4月10日
71-3	6月11日	6月11日
71-4	8月10日	8月10日
71-5	10月10日	10月10日
71-6	12月10日	12月10日
72-1	2月12日	2月12日

④編集委員会を平成30年5月12日に開催した。

(2) Journal of Nutritional Science and Vitaminology (JNSV)

①編集状況

日本ビタミン学会との共同編集 Vol. 64-No. 2~No. 6、Vol. 65-No. 1の刊行

JNSV編集委員会報告

平成31年3月12日現在

理事会			分野別投稿数						分野別採択数						備考
資料提出日	Vol	年	Total	V	N	F	R	Note	Total	V	N	F	R	Note	
3月24日	64	2018	39	8	26	5	2	9	21	6	10	5	4	1	64-2まで
5月10日			66	14	46	6	2	10	32	8	18	6	4	4	64-3まで
7月16日			106	25	68	13	2	12	43	9	24	10	4	9	64-4まで
10月27日			174	31	118	25	4	23	66	15	37	14	4	13	64-6まで
2月2日			217	37	146	34	7	29	66	15	37	14	4	13	64-6まで
3月23日	65	2019	41	7	30	4	3	2	30	5	23	2	0	8	65-2まで

Total は、V、N、Fの合計。

(各号の内訳)						
Total	V	N	F	R	Note	巻号
11	2	4	5	2	0	64-1
10	4	6	0	2	1	64-2
11	2	8	1	0	3	64-3
11	1	6	4	0	5	64-4
11	2	8	1	0	2	64-5
12	4	5	3	0	2	64-6
15	3	11	1	0	2	65-1
15	2	12	1	0	6	65-2

J. Nutr. Sci. Vitaminol. 原稿状況 (2018年12月31日現在)

Vol. 56													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	24	7	19	23	10	12	13	12	16	15	11	10	172
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		13		11		10		9		10		15	68
Vol. 57													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	14	15	9	10	13	14	16	19	18	14	10	15	167
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		18		12		9		8*		9		9	65
*IUNS報告を除く													
Vol. 58													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	6	14	17	10	12	8	13	18	17	14	12	12	153
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		11		11		10		12		10		11	65
Vol. 59													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	12	14	17	12	13	10	16	11	7	11	9	12	144
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		11		12		12		15		14		16	80
*59-Suppl. を除く													
Vol. 60													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	13	17	13	11	11	9	15	13	11	7	16	10	146
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		10		10		10*		12		9		14	55
*IUNS報告を除く													
Vol. 61													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	16	4	16	16	23	19	19	13	14	18	14	12	184
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		15		14		12		10		11		13	75
Vol. 62													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	14	22	23	19	19	17	20	11	15	16	26	17	219
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		11		10		8		10		14		9	62
Vol. 63													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	21	20	16	15	23	14	15	12	11	15	14	16	192
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		11		9		9		9		10		11	59
Vol. 64													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	20	19	16	10	20	22	18	16	26	18	14	18	217
掲載数		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6	
		11		10		11		11		11		12	66

JNSV投稿内訳および結果

Vol.	Year	Total No.*	V		N		F		R	Note		年間掲載数	頁
			投稿数	掲載数	投稿数	掲載数	投稿数	掲載数		投稿数	掲載数		
51	2005	115	26	14	76	49	13	15	1	15	17	78	499
52	2006	137	19	17	88	43	30	11	1	16	11	71	497
53	2007	134	22	16	92	51	20	21	2	18	17	88	577
54	2008	154	20	16	103	57	31	8	3	23	11	81	531
55	2009	165	23	10	112	56	30	12	1	28	16	78	538
56	2010	172	29	11	115	44	28	13	1	25	12	68	470
57	2011	167	28	8	104	49	35	8	2	24	10	65	460
58	2012	153	33	11	107	43	13	11	1	28	18	65	466
59	2013	144	27	22	96	51	21	7	4	24	20	80	614
60	2014	146	29	11	90	42	27	13	3	27	11	66	471
61	2015	184	39	14	113	46	32	15	0	29	17	75	543
62	2016	219	33	15	156	38	30	9	2	19	9	62	451
63	2017	192	33	12	123	36	36	11	1	26	6	59	446
64	2018	217	37	15	146	37	34	14	4	29	13	66	501

* V, N, Fの合計。

採択数・却下数 (2018.12.10現在)

論文提出日	2015/1/1-2015/3/30 (旧システム)	2015/3/31-2015/12/31 (新システム)	合計	採択率
採択数	14	31	45	
却下数	16	87	103	
合計			148	30.41%

注) 新システムでは採択率=採択数/(採択数+却下数)になります。

論文提出日	2016/1/1-2016/12/31	合計	採択率
採択数	63		
却下数	120		
		183	34.42%

論文提出日	2017/1/1-2017/12/31	合計	採択率
採択数	60		
却下数	117		
		177	33.90%

論文提出日	2018/1/1-2018/12/31	合計	採択率
採択数	75		
却下数	93		
		168	44.64%

②特定分野の編集委員の負担が大きくなっているため、委員の増員を検討し、1名決定。

③実際の採択率は30~45%であり概ね基準通りに採択されていること、採択までにかかる期間が長すぎることもなく順調に編集作業が行われている。(インパクトファクター0.952)

④編集委員の交代(4名)

(3) 学会監修出版物

「消化管からみた健康栄養」 南 久則、宮本 賢一、山田 耕路

建帛社

2) 広報事業

本事業は、広報委員会を通じ展開された。

(1) 報道機関向け広報

- ①第72回大会開催にあたり、報道機関へプレスリリースを実施した。(平成30年4月27日)
- ②第73回大会開催にあたり、報道機関へ事前に主なテーマについての発表(平成31年4月22日)実施の準備

(2) 会員向け情報の告知

学会内の動き、関連学術団体、関連機関(大学・官庁等)からの情報、依頼記事(募集・告知等)について、広報推進を行った。

- ①ホームページ管理業務委託業者を通じ、定期的及び緊急的に情報を掲載
- ②会員向けメールマガジン栄食ニュースは1回/月のペースで発信
ホームページへの掲載の紹介及びタイムリーな記事掲載を行い、以下15号発信
2018-4(通算192号 4/10)、2018-5(通算193号 5/10)、2018-6(通算194号 6/11)、2018-7(通算195号 7/10)、2018-7臨時号(通算196号 7/17)、2018-7臨時号(通算197号 7/18)、2018-8(通算198号 8/14)、2018-9(通算199号 9/10)、2018-10(通算200号 10/10)、2018-11(通算201号 11/10)、2018-12(通算202号 12/10)、2018-12臨時号(通算203号 12/21)、2019-1(通算204号 1/10)、2019-2(通算205号 2/12)、2019-3(通算206号 3/11)
- ③国内学術団体からの事業関連の連絡・通知
 - *日本学術会議
日本学術会議発行メールニュース(No.629~No.671)の周知の実施
 - *日本医学会
シンポジウム等の開催周知協力の実施

III 管理業務報告

(1) 内閣府からの通知・連絡対応

①内閣府より

- *公益法人メールマガジン(第43号~第65号)受領
- *公益法人 information「事業報告等の提出」のお知らせ(4/1)
- *公益法人 information「事業報告等の提出」のお知らせ(5/1)
- *公益法人 information「事業報告等の提出」のお知らせ(6/1)
- *公益法人 information「事業報告等の提出」受付のお知らせ(6/25)
- *【周知】密接公益法人に関する指導指針等の改正について(10/17)
- *立ち入り検査通知(10/25)
- *平成29年事業報告訂正提出完了のお知らせ(1/30)
- *メール通知「事業計画書等の提出完了」(整理番号1800115198)の案内(3/28)

②内閣府へ

- *「国と特に密接な関係がある公益法人への該当性の有無」をHPに掲載(4/1)
- *平成29年度事業報告書等をオンライン提出(6/25)
- *平成29年度事業報告修正(1/30)
- *平成31年度・令和元年度事業計画書等をオンライン提出(3/28)

(2) 文部科学省

- *平成31年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者の推薦について(5/30受領、7/20回答)
- *平成31年度(第60回)科学技術週間について(依頼)

(3) 厚生労働省

- *医薬品・医療機器安全性情報報告制度の周知
- *医薬品・医療機器安全性情報 No. 352~No. 361の周知依頼

(4) 農林水産省

- *特になし

(5) 日本学術会議

- ①日本学術会議発行メールニュース(No. 629~No. 671)の周知
- ②生活科学系コンソーシアムへの参加
- ③[nozip]平成30年度協力学術団体に対する実態調査について(10/15、10/18回答)
- ④[nozip]【連絡】日本栄養・食糧学会、変更届の御提出について(3/22、3/22回答)

(6) 日本医学会・日本医学連合

- ①[ibunka-ml]の周知
- ②[all-member]の周知
- ③日本医学会だよりの掲載
- ④日本医学会に関するアンケートの回答
- ⑤第3回研究倫理教育研修会(平成30年5月7日)への出席
- ⑥医学会連合定時総会への出席(平成30年6月15日)への出席
- ⑦日本医師会71周年記念講演会(平成30年11月1日)への出席
- ⑧第2回日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)ならびに日本医学会分科会利益相反会議合同シンポジウム(平成30年11月6日)への出席
- ⑨日本医学会・医学用語委員会(平成30年12月18日)への出席
- ⑩医学会連合連絡協議会への出席(平成31年2月5日)への出席

(7) 関連団体との共催、協賛、後援の許可

- ・日本栄養士会「栄養の日・栄養週間2018」後援
- ・ICoFF2019/ICPH2019・ISNFF2019語同開催委員会「第7回国際フードファクター会議、第12回国際機能性食品学会、第9回ポリフェノール健康国際会議」後援
- ・日本摂食障害協会「世界摂食アクションデイ2018」後援
- ・日本アミノ酸学会「日本アミノ酸学会 第12回学術大会」後援
- ・公益財団法人不二たん白質研究財団「公開講演会—大豆のはたらき in 札幌—おいしさと健康を通して」後援
- ・日本食品・機械研究会「第17回高付加価値食品開発のためのフォーラム」協賛
- ・国際たまごシンポジウム実行委員会「国際たまごシンポジウム in 京都2018」後援
- ・JSPS 先導的研究開発委員会「食による生体恒常性維持の指標となる未病マーカーの探索戦略—公開シンポジウム」協賛

- ・公益社団法人 日本油化学会「第18回基準油脂分析試験法セミナー」協賛
- ・東京大学大学院農学生命科学研究科若手を中心とする消化管研究グループ「GR-GUT シンポジウム」後援
- ・静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会「第23回静岡健康・長寿学術フォーラム」後援
- ・公益社団法人米穀安定供給確保支援機構「平成30年度『食育健康サミット』」後援
- ・APNNO事務局「Asia Pacific Nutrigenomics & Nutrigenetics Conference 2018」後援
- ・(公社)日本油化学会関東支部「平成30年度第3回油化学セミナー」協賛
- ・日本フードファクター学会「2019 International Garlic Symposium」共催
- ・日本DOHaD学会「出生コホート研究連携ワークショップのシンポジウム」後援
- ・食品化学新聞社「ifia JAPAN 2019—第24回国際食品素材/添加物展・会議」「HFE JAPAN 2019 第17回ヘルスフードエキスポ」協賛
- ・一般社団法人日本キッチン・キトサン学会「第32回日本キッチン・キトサン学会大会」協賛
- ・食品ハイドロコロイド研究会「第29回食品ハイドロコロイドシンポジウム」協賛
- ・食品ハイドロコロイド研究会「食品ハイドロコロイドセミナー2018」協賛
- ・公益財団法人ダノン健康栄養財団「第20回ダノン健康栄養フォーラム」後援

(8) 利益相反 (COI) 関連

学会役員のCOI申告手続きについてWeb申告が出来るようになった。

COI指針の一部を訂正し、平成31年4月1日より施行することになった。

JNSVのCOI管理指針作成し、令和元年5月のJNSV編集委員会で最終確認の後、施行。それに伴い、JNSV投稿規定も一部改定。

IV 総会、理事会等の開催状況

(1) 社員総会

平成30年 5月11日(金) 9:00~9:50 岡山コンベンションセンター コンベンションホール

(2) 理事会

平成30年 4月21日(土) 13:30~17:00 お茶の水女子大学
 平成30年 5月10日(木) 15:00~17:00 岡山コンベンションセンター 会議室302
 平成30年 7月16日(月) 13:30~17:00 東京大学 弥生キャンパス
 平成30年 10月27日(土) 12:30~15:30 お茶の水女子大学
 平成31年 2月2日(土) 13:30~17:00 お茶の水女子大学
 平成31年 3月23日(土) 13:30~17:00 お茶の水女子大学

(3) 臨時理事会

平成30年 5月11日(金) 9:50~10:20 岡山コンベンションセンター 会議室302

(4) 業務執行理事打合せ

平成30年 7月7日(土) 13:30~17:00 お茶の水女子大学
 平成30年 10月13日(土) 13:30~17:00 お茶の水女子大学
 平成31年 1月14日(月) 13:30~17:00 お茶の水女子大学
 平成31年 3月9日(土) 13:30~17:00 お茶の水女子大学

(5) 名誉会員・顧問懇談会

平成30年 4月7日(土) 11:00~13:00 松柏軒

(6) 栄養・食糧懇談会

平成30年 4月7日(土) 13:30~16:00 お茶の水女子大学

(7) 名誉会員・終身会員推薦委員会

平成31年 1月14日(月) 14:05~14:26 お茶の水女子大学
 平成31年 3月9日(土) 14:26~14:34 お茶の水女子大学

(8) 将来構想検討委員会

平成30年 7月7日(土) 10:30~12:00 お茶の水女子大学
 平成31年 3月23日(土) 10:30~12:30 お茶の水女子大学